

琳派

世紀の大発見!

尾形光琳の幻の名作

「富士三壺図屏風」上陸!



展

～尾形光琳、神坂雪佳から
鉄腕アトム、リラックマ、初音ミクまで～

2024.4.20 | 土 | ~ 6.2 | 日 |

前期 4月20日(土)~5月12日(日) 後期 5月14日(火)~6月2日(日)

会場 | 北海道立近代美術館 (札幌市中央区北1条西17丁目)

開館時間 | 9:30~17:00(入場は16:30まで) 休館日 | 月曜日(4/29、5/6を除く) 4/30、5/7

主催:STV札幌テレビ放送 後援:札幌市、札幌市教育委員会 特別協力:公益財団法人細見美術財団 細見美術館 協力:STVラジオ
企画・監修:細見良行(細見美術館館長)、松原龍一(元京都国立近代美術館副館長)

鉄腕アトム×富士(部分) 2021年 ©手塚プロダクション

【前売券販売】2024年2月2日(金)~4月19日(金)

- 展覧会公式ホームページ(オンラインチケット) ● ローソンチケット(Lコード:12408)
- チケットぴあ(Pコード:686-751) ● 道新プレイガイド
- セコマチケット(セコマコード:D24042001)4/12(金)まで ● 札幌市民交流プラザチケットセンター
- 大丸藤井セントラル3Fフロアー ● 北海道立近代美術館売店 ※休館日は美術館HPなどでご確認ください。

【当日券販売】2024年4月20日(土)~6月2日(日)

- 展覧会公式ホームページ(オンラインチケット) ● 北海道立近代美術館

【観覧料】一般1,700(1,500)円、
高大生1,000(800)円、中学生700(500)円、
小学生以下無料(要保護者同伴) ※ ()内は前売料金

※小学生以下のお客様は必ず保護者(18歳以上)同伴でご入場ください。 ※15名以上の団体、リピーター割引料金は前売料金と同額。 ※リピーター割引は、道立美術館・美術館で開催された特別展の半券をご提示いただいた場合の料金。(有効期限は半券に記載。1枚につき、お一人様1回限り有効。) ※65歳以上の方は、当日料金が前売料金と同額。(年齢のわかるものをご提示ください。) ※障がい者手帳などをご提示の方とその介護者(1名)は無料。 ※記載内容について2024年4月1日以降変更する場合があります。



1.鈴木其一〈藤花園〉(部分) 江戸時代後期 細見美術館蔵【前期】 2.神坂雪佳〈四季草花園〉(部分) 大正時代 細見美術館蔵 3.神坂雪佳〈白鳳図〉(部分) 1927年頃 細見美術館蔵 4.尾形光琳〈富士三壺図屏風〉より〈三壺〉 江戸時代中期 個人蔵 5.「伊年印」〈四季草花園屏風〉(部分) 江戸時代前期 細見美術館蔵 6.神坂雪佳〈帖図〉(部分) 大正時代末～昭和時代初期 細見美術館蔵 7.俵屋宗達、無染浄善(賛)〈双犬図〉(部分) 江戸時代前期 細見美術館蔵

米国で発見された尾形光琳の幻の名作「富士三壺図屏風」上陸！ 江戸時代から現代まで琳派に魅せられた絵師大集合。 琳派の世界に鉄腕アトム、リラックマ、初音ミクらが登場！

「琳派」とは、俵屋宗達から100年ほど後に絵師となった尾形光琳(1658～1716)の「琳」をとって名付けられた名称です。「琳派」という言葉は、日本文化や日本美術のなかで有名な言葉であり世界にもその素晴らしさが認識されています。しかし、「琳派」は、ごく近年になって使われはじめた言葉です。それは、大正時代に美術史関係の人が創り出した言葉ではありますが、現在では日本を始め世界中が「琳派」と言えば宗達や光琳らの素晴らしい作品の数々を思い浮かべます。しかし派が付いているからといって師弟関係で結ばれているものではなく、直接に教えを受けていないにもかかわらず、その人を慕い、その考えや行いを模範として学ぶという「私淑(ししゆく)」によって再出されています。一方、日本のマンガ、アニメも、日本のみならず世界の多くの人々に認められています。これらマンガ、アニメは現代の日本文化の大きな財産となっています。さらにマンガ、

アニメの世界にも先人に「私淑」して生まれた作品もあることは周知のことと思います。一見関係の無いジャンルである「琳派」と「マンガ、アニメ」を取り扱う展覧会ですが、この偉大な2つの日本文化には共通するものが見て取れると思います。それは、「私淑」「魅了」と言う語あるいはカリスマ性でしょうか。「琳派」も「マンガ、アニメ」も世界の人々の心を引きつけてとりこにする力があります。本展は、米国で発見され日本美術史を塗りかえる世紀の大発見、尾形光琳の《富士三壺図屏風》はじめ、宗達、光琳、酒井抱一、神坂雪佳など江戸時代初期から明治・大正時代にかけて制作された作品から「琳派」の素晴らしさを体感していただき、後半は、琳派に私淑した作家が琳派作品を写し、その中にマンガ、アニメのキャラクターを登場させるという新しい試みの上に制作された作品で2つの日本文化の素晴らしさや面白さを感じていただく展覧会です。



8.リラックマ×花舟(部分) 2017年 ©2024 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved. 9.リラックマ×狗見 2015年 ©2024 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved. 10.リラックマ×軒端の梅 2015年 ©2024 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved. 11.火の鳥×三壺 2021年 ©手塚プロダクション 12.リボンの騎士×業平東下り 2017年 ©手塚プロダクション 13.初音ミク×桜の小舎(部分) 2017年 Art by KEI © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro 14.初音ミク×藤 2017年 Art by iXima © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

チケットやイベント情報など最新情報はこちら

展覧会公式ホームページ

STVイベント 検索



@stv_event

お問い合わせ

STV事業部
TEL.011-272-8658

(土・日・祝日を除く10:00～17:00
会期中は開館時間内対応)

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
TEL.011-644-6882

https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb

[交通案内](地下鉄)東西線・西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分 (JRバス・中央バス)道立近代美術館バス停下車、徒歩1分(提携駐車場)美術館ホームページのアクセス情報をご確認ください。

